



きほんの講座

① - 1

定員50名



託児付

◆カレッジデビュー講座

講座番号 ① - 1

時間：午後2時～4時
 場所：築地社会教育会館
 回数：5回
 受講料：1,500円

主題 まなびのコース1年生向けのおすすめ講座です。歴史や生活・健康運動・芸術など……それぞれの分野で活躍する方を講師にお迎えし、オムニバス形式でお届けします。これまで苦手意識を持っていたり、触れるチャンスがなかった分野に接する良い機会です。ご自身の新たな一面を発見してみませんか？

【持ち物】 第3回のみ動きやすい服装、水分補給用の飲み物、汗拭き用のタオル、室内履き

回数	日程	講義内容	講師名
第1回	5/22 (水)	中央区の建物に親しむ ～明治・大正・昭和初期を中心に～	野々村 和恵
第2回	5/29 (水)	学びがもっと深まる生涯学習 ～身近な学びの場を使いこなそう～	渡邊 祐子
第3回	6/ 5 (水)	元気アップ！いきいきウォーキング	芦田 天文子
第4回	6/19 (水)	「紫外線対策講座/暑さ対策講座」で猛暑対策しませんか？	花王グループカスタマーマーケティング(株)講師
第5回	6/26 (水)	～音符が読めなくても弾ける癒しの音色～ ヘルマンハーブの魅力	梶原 千沙都 瀬藤 久美子

講師紹介

野々村 和恵 (ののむら かずえ)

清水建設株式会社コーポレート・コミュニケーション部総務グループ所属。創業から220年の歴史を持つ清水建設のアーカイブ業務に従事。同社の社史や携わった建造物の魅力を伝える講義の講師や、歴史的建造物に関する企画展示、コラムの執筆などを手掛ける。

渡邊 祐子 (わたなべ ゆうこ)

大学非常勤講師。東北大学大学院教育学研究科修了（博士）。専門は生涯学習、博物館教育の実践。2016～21年に東京都美術館より専門家委託として美術館の教育活動に従事。2017年から現在は、東京藝術大学、国際基督教大学、国立音楽大学、法政大学等非常勤講師。共著に『対人支援職者の専門性と学びの空間 看護・福祉・教育職の実践コミュニティ』（創風社）2015年。

芦田 天文子 (あしだ そのこ)

健康運動指導士。フィットネスインストラクター、専門学校非常勤講師、フィットネス指導歴30年。地域での運動教室主宰や、フィットネスクラブのスタジオアドバイザー、東京都の主催するスポーツイベントのプロデューサーなどの功績が認められ、2022年フィットネス業界誌「NEXT」の選ぶ「インストラクター・オブ・ザ・イヤー」受賞。

花王グループカスタマーマーケティング(株)

花王グループが全世界にESG戦略を発信した事に伴い、2021年1月に新設された社会コミュニケーション部門。花王は生活者の持続可能なライフスタイルを送りたいという思いや行動に応える事を目指し、生活者が求める暮らしの実現に向けて様々な取り組みを行っている。現在講師20名で健康講座・環境講座を中心に啓発講座を行政と協働で推進している。

梶原 千沙都 (かじわら ちさと)

日本ヘルマンハーブ振興会会長。2003年に在住中のヨーロッパでヘルマンハーブの創業者と出会い、2004年から日本にヘルマンハーブを導入。講師、奏者として本国ドイツにも招聘され、日本全国でヘルマンハーブのインストラクターを養成。各所のカルチャースクールの講師も務めている。障がい者の芸術活動支援により2019年度に文部科学大臣表彰を日本ヘルマンハーブ振興会が受賞。著書に世界初の奏法指導書『ヘルマンハーブの奏法(基礎編)』（音楽之友社）など。

瀬藤 久美子 (せとう くみこ)

日本ヘルマンハーブ振興会本部専属講師。ヘルマンハーブ奏法の開発者梶原千沙都に師事し、2007年より日本ヘルマンハーブ振興会の本部講師として複数のカルチャー講座で講師を勤める。受講生を率いて東京、神奈川の舞台に出演、幅広い音楽経験と豊富な演奏指導経験を持って受講生を指導している。現在は「自由が丘産経学園」、「コミュニティクラブたまがわ」などのカルチャースクールで講師を務めている。



◆老舗ものがたり

講座番号 ①-2

時間：午後2時～3時30分

※第5回は午後1時～3時30分

場所：築地社会教育会館ほか

※第5回は現地集合・解散です。

回数：5回

受講料：1,500円

主題 新しさと伝統が共存するまち中央区は、江戸時代から商業が繁栄し、文明開化以降は西洋文化受容の中心地として、経済・文化・情報の面で常に時代の最先端を歩んできました。

この講座は、中央区の歴史の中で暖簾を守り続けてきた「老舗」の物語です。講演、そして聞き手との対談、というそれぞれの形式で、老舗の創業の歴史や、まちへの思い、ご当主の人生哲学などをたっぷり語っていただきます。また、一緒にまちめぐりを楽しみながら、実際に老舗を訪れてみましょう。

企画・協力：日本橋弁松総本店

街歩き協力：中央区文化財サポーター協会

回数	日程	講義内容	講師名	聞き手
第1回	5/16 (木)	老舗のおはなし ～日本最古の弁当屋・日本橋弁松総本店～	樋口 純一	樋口 純一
第2回	5/30 (木)	老舗のおはなし ～鯉節 八木長本店～	西山 麻実子	
第3回	6/13 (木)	老舗のおはなし ～はんぺん・かまぼこ 神茂～	井上 卓	
第4回	7/11 (木)	老舗のおはなし ～呉服染処 竺仙～	小川 茂之	
第5回	7/18 (木)	老舗めぐり		

講師紹介

樋口 純一 (ひぐち じゅんいち)

(有) 日本橋弁松総本店代表取締役 (八代目当主)。1971年東京都生まれ。日本大学法学部を卒業後、親戚の営む新潟の割烹旅館に勤務。1997年日本橋弁松総本店入社。半年後、先代急死により現職就任。以降、過労死をかわしつつ、寿命の限り経営に碎身中。老舗としてのプライドを高める一方で、いかに敷居を低くするかをテーマに日々活動。日本橋の古絵葉書を収集したり、街案内のガイドをしたりして、日本橋の魅力をゆるく伝えている。

井上 卓 (いのうえ たかし)

(有) 神茂代表取締役社長 (十八代目当主)、全国蒲鉾水産加工業協同組合連合会理事。1961年日本橋生まれ。先代・井上茂三郎の次男として生まれ、大学卒業後にジャスコ (現イオン) に入社。その後、先代の意向を受けて十八代目当主に就任し現在に至る。

「名物と世にめでられて昔より変わらぬ味の月の蒲鉾」。江戸時代の木版画にもこのように評された味を守って320年、半ぺんや蒲鉾一筋に神茂は精進してまいります。

中央区文化財サポーター協会とは

中央区の養成講座修了生で構成されたまち歩きのボランティア団体で、歴史・文化・伝統ある中央区の史跡・旧跡・名所など、とっておきの見どころを楽しく、親切にご案内しています。

西山 麻実子 (にしやま まみこ)

(株) 八木長本店代表取締役九代目八木長兵衛、上級かんづつマエストロ、NPO法人味覚の伝承理事。2014年八代目・八木長兵衛の会長就任にあたり2015年九代目に就任。現職の傍ら、和食文化の伝承のため様々な場所で講演会やワークショップを行っている。

伊勢より上京した伊勢商人が元祖の八木長本店は、屋号を伊勢長として、江戸幕府八代將軍吉宗公の御代 (1737年) に日本橋小舟町に鯉節・塩鮭を取り扱う商店を創業いたしました。初代長兵衛より当代まで一貫して、ユネスコ無形文化遺産でもある和食の基本となる鯉節を中心に、厳選した和食に欠かせない素材を取り扱っております。

小川 茂之 (おがわ しげゆき)

(株) 竺仙常務取締役。1978年生まれ。高校卒業後、音楽の道を目指し活動開始。レコード会社と契約しCD発売に伴う全国ツアーやライブ活動を行う。2006年現当主五代目より声が掛かり竺仙に入社。2020年常務取締役に就任する。2016年より地域に根差した活動・運営にも尽力している。

江戸の後期、天保年間の創業 (1842年) である呉服店・竺仙は、江戸染浴衣の独特な技術が歌舞伎役者にも愛され「粋な浴衣とは竺仙の事」と人口に膾炙し、日本橋小舟町へ参りました。伝統的な浴衣や江戸小紋の開発販売だけではなく、古代紋様の再現や現代のライフスタイルに合わせた活用方法の提案などを通じて、初代から続く技術と「竺仙らしさ」を未来へと継承しています。

◆中央区の江戸時代～町人と寺社世界～

主 題 江戸時代の中央区は、江戸城と隅田川・江戸湾に囲まれた地域で、元祖「江戸っ子」が誕生した地域でも知られています。

今回は、江戸時代の中央区全体の歴史的推移と地域の特徴を解説したあと、この地域の寺社と町人たちが生み出した文化について講義します。

講座番号 ①－3

時 間：午後6時30分～8時

場 所：築地社会教育会館

回 数：5回

受講料：1,500円

【ご受講に際して】座席とバインダーを使用して学習いたします。

回数	日 程	講 義 内 容	講 師 名
第1回	5/16（木）	江戸時代の中央区域	滝口 正哉
第2回	5/23（木）	名所とパワースポット	
第3回	5/30（木）	年中行事	
第4回	6/ 6（木）	開帳	
第5回	6/13（木）	富くじ	

講 師 紹 介

滝口 正哉（たきぐち まさや）

立教大学特任准教授。早稲田大学教育学部社会科地理歴史専修卒業。博士(文学)。専門は近世都市史・文化史。著書に『千社札にみる江戸の社会』（同成社）、『江戸の社会と御免富一富くじ・寺社・庶民一』（岩田書院）、『江戸の祭礼と寺社文化』（同成社）。編著に『赤坂氷川神社の歴史と文化』（都市出版）など。



◆超高齢社会を生き抜く知恵 ～もう一つの人生を充実して生きるには～

主 題 コロナの影響で日本人の平均寿命は少し短くなりましたが、依然として世界のトップレベルです。今や100歳以上人口は10万人に迫りつつあります。定年後や子どもが独立した後の人生は、余生というよりも「もう一つの人生」と呼ぶべきでしょう。長くなった人生の午後に不安なく、生きがいを持って暮らすには何が必要か。皆様とご一緒に考えてみましょう。

どの世代の方にも共通して自分事として人生を考えられるよう、グループ学習・話し合い学習を取り入れて進めていきます。

講座番号 ①-4

時 間：午後2時～4時
場 所：築地社会教育会館
回 数：5回
受講料：1,500円

企画・協力：一般社団法人シニア社会学会

回数	日 程	講 義 内 容	講 師 名
第1回	5/23 (木)	どう生きる「もう一つの人生」	袖井 孝子
第2回	6/ 6 (木)	書くことで振り返るあなたの人生～自分史のすすめ	柴本 淑子
第3回	6/20 (木)	こんなに楽しいICT	チームICT
第4回	7/ 4 (木)	身近なところで役立つ、グリーンケア・ペットロスケア	中村 昌子
第5回	7/18 (木)	人生100年時代のライフプラン	谷口 佳充

講 師 紹 介

袖井 孝子 (そでい たかこ)

お茶の水女子大学名誉教授、東京家政学院大学客員教授、一般社団法人シニア社会学会会長、一般社団法人コミュニティネットワーク協会会長、NPO法人 高齢社会をよくする女性の会副理事長。厚生労働省社会保障審議会医療保険部会委員。著書に『変わる家族変わらない絆』『高齢者は社会的弱者なのか』（以上ミネルヴァ書房）、『女の活路男の末路』（中央法規）などがある。

柴本 淑子 (しばもと よしこ)

編集者兼フリーライター。シニア社会学会会員。お茶の水女子大学文教育学部を卒業し、日本経済新聞に入社。日経退社後は長く雑誌編集に関わる。『たまごクラブ』（ベネッセ）『ひよこクラブ』（ベネッセ）『毎日が発見』（角川）各誌元編集長。上智大学新聞学科、東洋大学理工学部の非常勤講師として計14年間文章を指導。現在キーコーヒ株式会社社外取締役を兼務。

チームICT

「なかの生涯学習大学」で学ぶ受講生のオンライン受講をサポートするとともに、受講生のICT活用をサポートすることで、仲間づくりを応援するために集まった自主活動グループ。「なかの生涯学習大学」とは、受講生である中野区民が自身の豊かな経験を活かして、仲間づくりや地域・社会活動をスタートできるよう、現代社会の課題や地域の現状などを学習する場です。

中村 昌子 (なかむら よしこ)

シニア社会学会理事、グリーンカウンセラー、ペットロスカウンセラー、ちばSDGsパートナーEmpathy代表。32年間勤めたJALを早期退職後、母校、立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科修士課程を修了し「社会デザイン学」学位取得。現在「上智大学グリーンケア研究所」で専門的な知識・援助技術を研鑽中。市川市環境保全課認可地域猫活動団体運営。公立小学校外国語活動指導員7年目。シニア世代の働き方を研究しつつ、自ら地元で複業を実践しています。

谷口 佳充 (たにぐち よしみつ)

三井住友信託銀行 2019年設立の人生100年応援部特別理事。デジタル技術を活用した遺言制度の在り方に関する研究会委員。認知等判断能力低下への備えをご提供する「人生100年応援信託」「安心サポート信託」、死後の葬儀や遺品整理など死後事務サービスをご提供する「おひとりさま信託」、ペットを家族と同様に遺言の対象とする「ペット遺言信託」、住宅ローンのお客さま向け無料遺言預かりサービス「ハウジングウィル」をリリース。

きほんの講座 ①-5

定員24名



託児付

7/20を除く

◆もの・ひと繋がる銀座のまち

講座番号 ①-5

主 題 世界有数の商店街「銀座」を舞台に、お店同士が商品を贈りあうことで互いの絆を深め街の魅力を発信しよう、という活動が2020年に始まり、銀座にゆかりある人々やイベントなどを巻き込みながら、今では銀座以外の地域にまで広がっています。

この取り組みの名前は「銀座 もの・ひと繋ぎプロジェクト」。この講座では、このプロジェクトに協力された方々からお話を伺います。

最終回には実際に銀座めぐりをしながら、町の魅力を体感いたします。

時 間：午後10時30分～正午

場 所：築地社会教育会館ほか

※第5回は現地集合・解散です。

回 数：5回

受講料：1,500円

【ご受講に際して】参加される方は、お気に入りの銀座スポットを講座内で発表していただきます。

企画・協力：銀座ものひと繋ぎプロジェクト事務局 街歩き協力：中央区文化財サポーター協会

回数	日程	講義内容	講師名	聞き手
第1回	5/25 (土)	【マドラス銀座店】本物の履き心地、そして創業103年目のチャレンジ	岩田 敏臣	斉藤 大地
第2回	6/ 8 (土)	【ハイアットセントリック銀座東京】泊まること暮らすこと	内山 渡教	
第3回	6/22 (土)	【無印良品 銀座】食から世界を眺めてみよう	柳 俊輔	
第4回	7/13 (土)	【銀座丸八】銀座と共に300余年	松澤 芳邦	
第5回	7/20 (土)	銀座めぐり	中央区文化財サポーター協会	

講師紹介

岩田 敏臣 (いわた としおみ)

マドラス(株)取締役本部長。大学卒業後、広告会社やシューズ店での勤務を経て、2013年マドラス(株)へ入社。データを活用した顧客へのアプローチを通じて体験価値向上に取り組む。また、クラウドファンディングや文部科学省「トビタテ!留学JAPAN」を経験した学生とのアイデアソン開催などを通じて、未来の銀座に思いをめぐらせている。

マドラスの旗艦店である銀座店は、マドラスが誇るクラフトマンシップを体感していただける場として銀座ならではの商品を取り揃えております。特にオーダーシステムは大変ご好評いただいております。2階のサロンで落ち着いた雰囲気の中お作りいただけます。お靴のご修理やメンテナンスのご相談、靴磨きも承っております。

内山 渡教 (うちやま ただのり)

ハイアットセントリック銀座東京総支配人。1998年グランドハイアット福岡からキャリアをスタート。以来、国外を含むハイアットグループホテルの様々な部門にて、ホテル運営を多方面から経験してきた。グランドハイアット、ハイアットリージェンシー、そしてアンダーズという異なるブランドを運営の最前線で成功に導いた功績を経て、現在に至る。

並木通り沿いのハイアットセントリック銀座東京は、新しい文化を柔軟に受け入れつつも伝統を大切にしてきた「銀座らしさ」をユニークなカラーとデザインに落とし込み、機能美と開放性を併せ持つ164室の客室を有しております。この街の新しい旅の拠点として、旅に関する優れたアンテナを持ち、旅先での発見を追い求め、それを仲間とシェアすることに喜びを感じる「アクティブトラベラー」の限らない探検をサポートします。

柳 俊輔 (やなぎ しゅんすけ)

(株)良品計画無印良品銀座地域連携、地域マーケティング、イベント担当部門マネージャー。2002年良品計画入社。無印良品銀座の6Fにて、銀座のひととひとを繋ぐ場「柳Bar」のマスターとして皆様のお越しをお待ちしております。

並木通り沿いの無印良品銀座は、これまで、これからも、銀座の地に訪れる人や関わる人たちがそれぞれに想いを馳せたり、実際に出会い、つながりが生まれる場となることを目指します。無印良品の世界旗艦店として、銀座から世界中に「良い暮らし」を発信していきます。

松澤 芳邦 (まつざわ よしくに)

銀座丸八(株)代表取締役社長。1994年慶應義塾大学法学部卒業後、三菱銀行に入行。1999年東京三菱証券に出向し、金融法人向け債券トレーディング業務に従事。2003年三菱UFJキャピタルに投資第一部副部長として出向し、ベンチャー企業に対する投資育成業務に従事。2014年に三菱東京UFJ銀行へ帰任する。2015年、家業である銀座丸八に入り現在に至る。

銀座丸八は1696年に銀座で創業。327年の歴史を持つ会社です。創業時は薬種業としてスタート。現在は不動産賃貸業をしております。銀座は現在、地価が日本一ですが、銀座がなぜ日本一の街になれたのか、銀座の歴史とともに、その理由を解き明かします。

斉藤 大地 (さいとう だいち)

木挽町よしや三代目、銀座ものひと繋ぎプロジェクト代表。中央区生まれの、中央区育ち。大学を経て、歌舞伎座路地裏にある創業100年の老舗和菓子店木挽町よしやの三代目として、先代と共に味と技術を守り伝えている。2020年4月、コロナによる苦境を街の絆で乗り越えようと、老舗商店などが物々交換を繰り返しながら街の魅力を発信する「銀座もの繋ぎプロジェクト」を発案。本プロジェクトは4ヶ月で100商店以上の参加を迎え、老舗商店から大手企業、ホテル、個人デザイナー、また他エリア(日本橋、浅草、鎌倉)にまでその輪が広がり、現在も進行している。2023年、銀座の魅力を発信するWebサイト「ギンザプロデュース24」を立ち上げ、銀座を身近に感じられる情報を日々発信している。

◆おとなのしゃかいが ～変革する社会からくらしを守るためのお金の基本～

主 題 全世代を対象に、経済・金融に関連する知識を、社会生活との関わりという観点から習得する講座です。

社会保険料の引き上げ、物価の上昇、30年続いた超低金利政策からの脱却、雇用形態の変化等々、私たち国民を取り巻く社会・経済環境は、大きく変わってきています。このようなときは、国の制度や基本的な経済のしくみを理解して、自身の生活設計を考えることが大切です。この講座は、現在起こっている経済事象を体系的に理解し、社会事情と合わせて考えることによって、各自が自分の生活を守る方法を見つけることを目指します。

講座番号 ①-6

時 間：午後6時30分～8時

場 所：築地社会教育会館

回 数：5回

受講料：1,500円

企画・協力：特定非営利活動法人 金融と証券を学習する会

回数	日 程	講 義 内 容	講 師 名
第1回	5/28 (火)	「変革する社会・経済と私たちのくらし」	特定非営利活動法人 金融と証券を 学習する会
第2回	6/11 (火)	「自分の資産を守るための金融の基礎知識」	
第3回	6/25 (火)	「自分にあった資産形成の方法とは」	
第4回	7/ 9 (火)	「生活に関わる税制等の改正について」	
第5回	7/23 (火)	「まとめ～皆様からの質問に対する回答」	

講 師 紹 介

特定非営利活動法人 金融と証券を学習する会とは

特定非営利活動法人 金融と証券を学習する会は、広く一般市民を対象として、経済、金融、証券、証券投資に関する知識を普及・啓発する活動を行い、社会教育における公益の増進に寄与することを目的として、2016年2月に設立、2017年7月に東京都の特定非営利活動法人に認証されました。金融機関出身のボランティアによる講師が、中立・公正な立場から、長年の経験を基に、市民目線に立った“わかりやすさ”を信条に解説・説明を行っています。現在、東京近郊の公民館での講座開催が活動の中心となっておりますが、一般企業や地方公共団体、大学などの教育機関への出前講座も行っています。



◆笑いの伝統芸能～「狂言」を楽しもう～

講座番号 ①-7

時 間：午後2時～4時

※第4回は午後2時開演

場 所：築地社会教育会館

※第4回は観世能楽堂に現地集合・解散

回 数：4回

受講料：1,200円

観劇料：3,500円

主 題 600年の歴史を持つ、和楽の伝統芸能「狂言」。庶民の日常を題材に、人間誰しもが身に覚えのありそうな心の動きを、大らかで素直な笑いとともに表現するのが狂言です。その舞台はとてもシンプル。観る人の想像力に訴えながら、ないものがあるかように見せる、遊び心に富んだその技術は「素手の芸」ともいわれます。

この講座では、第一線で活躍中の狂言師による演者ならではの視点を交えた講義と、小舞や狂言の体験を中心に、能舞台での観劇を通して、より気軽にかつ深く、狂言を楽しんでいただくことを目指します。

回数	日程	講義内容	講師名
第1回	6/6 (木)	狂言とは～その歴史と特徴～	石田 幸雄
第2回	6/27 (木)	狂言の謡と所作～小舞を題材に～	
第3回	7/11 (木)	狂言とは～実演をまじえて～	石田 幸雄、飯田 豪
第4回	8/29 (木)	公演鑑賞「第107回野村狂言座」	解説付の公演を鑑賞します

講師紹介

石田 幸雄 (いしだ ゆきお)

狂言師。1949年生まれ。野村万作(人間国宝)に師事。重要無形文化財総合指定者。既に大曲の『三番叟』『釣狐』『花子』を抜く。野村万作・萬斎らとともに国内外を問わず精力的に活動、普及に貢献している。2006年「雙ノ会」で芸術祭大賞、2011年観世寿夫記念法政大学能楽賞受賞。

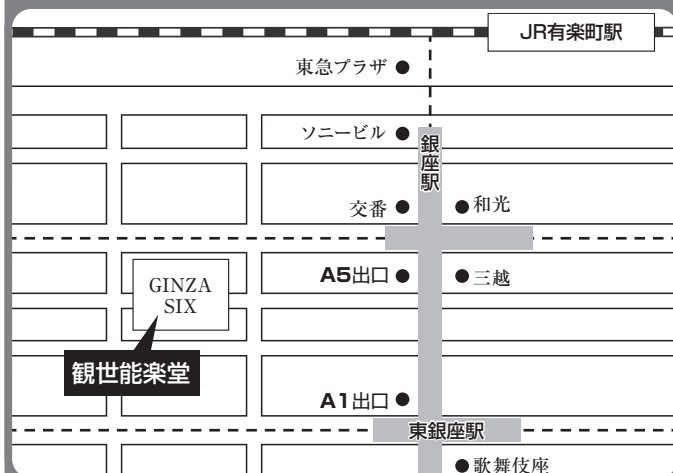
飯田 豪 (いいた こう)

狂言師。1989年生まれ。野村万作(人間国宝)に師事。日本大学芸術学部卒業。能楽協会会員。既に「奈須与市語」「三番叟」を抜く。「万作の会」の狂言師の一人として国内外で活動している。



石田 幸雄 (撮影：政川 慎治)

会場図 (第4回のみ)

中央区銀座6-10-1
GINZA SIX 地下3F

◆落語の中の江戸の風景

講座番号 ①-8

主 題 落語とは、一枚の座布団の上から動かずに、身振り手振りのみでおはなしをして、お客様に楽しんでいただく芸能です。

余分な仕掛けを全て省いたこの舞台芸能が、江戸時代から現代に至るまで、皆様の身近にあって親しまれているのはなぜでしょうか。

本講座では、江戸の仕事や食文化、庶民の遊びや季節の行事など4つのテーマをご用意し、関連する落語用語や歴史雑学、現代にも残る江戸文化の面影をご紹介します。

実演に際しては、落語の聖地・中央区ならではのおはなしを楽しんでいただければ幸いです。

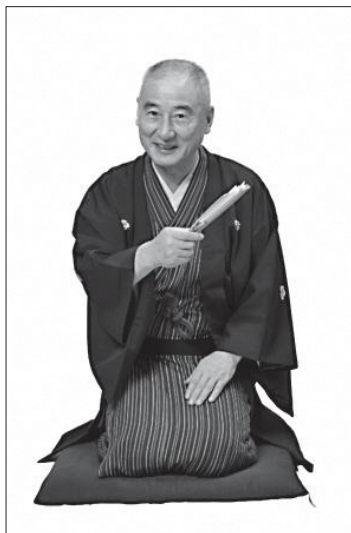
時 間：午後6時30分～8時
場 所：築地社会教育会館
回 数：5回
受講料：1,500円

回数	日 程	講 義 内 容	講 師 名
第1回	6/ 7 (金)	江戸のおしごと 【実演】 百川	十一代目 金原亭 馬生
第2回	6/14 (金)	江戸の食べ物 【実演】 二番煎じ	
第3回	6/21 (金)	江戸の趣味・娯楽 【実演】 明烏	
第4回	6/28 (金)	江戸の行事 【実演】 佃祭	
第5回	7/12 (金)	金原亭 馬生、金原亭 小馬生 親子会	

講 師 紹 介

十一代目 金原亭 馬生 (きんげんてい ばしょう)

落語家 (一般社団法人 落語協会理事)。中央区銀座木挽町生まれ。1969年に十代目金原亭馬生師匠に入門し、同年、小駒を名乗り人形町末廣にて初高座。1987年に真打へ昇進し、1999年で名跡・十一代目金原亭馬生を襲名。所属は (一社) 落語協会、2014年より落語協会理事。古典落語から新作落語、また日本舞踊・俳句など幅広い芸域を持ち、人情噺・芝居噺といった噺ができる数少ない噺家の一人。また、江戸時代から明治まで盛んに興行されていた噺家が演じるお芝居「鹿芝居」を現代に復活させた立役者でもある。



十一代目
金原亭 馬生

金原亭 小馬生 (きんげんてい こばしょう)

落語家 真打。2000年 十一代目金原亭馬生に入門し前座名「駒介」で楽屋入り。2003年 ニツ目に昇進「馬吉」に改名。2015年 真打に昇進 二代目金原亭馬玉を襲名、本年2月より小馬生と改名した。都内の寄席を中心に全国各地の地域寄席や学校寄席などで落語の魅力を伝える。



金原亭 小馬生